

令和7年度 墨田区立第二寺島小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 富永央星

学校教育目標	・よく考えて工夫する子 ・思いやりがあり助け合う子 ・体力のある元気な子 ・ねばり強くやりぬく子
目指す学校像	自己実現を目指す学校
目指す児童像	自分とひとを大切にできる子
目指す教師像	使命感のある教師

○令和7年度 学校経営計画における重点内容  
 ・学校教育目標の重点を「思いやりがあり、助け合う子」に置くこととし、道徳科の時間だけでなく本校の学校教育全体を通して、よりよく生きる力の基盤である「思いやりの心」を育てることを重要課題と設定する。  
 ・今年度、新たな101年目のスタートとなる。「百年の思いやり」というテーマを継承しつつも、これからの時代を生きていくための「学力の定着」についても課題として、授業改善を推し進める。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
各教科指導等	基礎学力の確かな定着のために主体的・対話的で深い学びを実現させる授業を行う。	・ねらいに対してのまとめと振り返りを毎時間行うことで、「分かる・できる」授業を実施する。 ・アウトプットを大切にさせる。 ・年間3回以上の授業観察を実施する。	4	学校評価における校内研究の肯定的評価回答100%	4	年度末の授業観察後の評価にてA評価が90%以上					
			3	学校評価における校内研究の肯定的評価回答80%以上	3	年度末の授業観察後の評価にてA評価が80%以上					
			2	学校評価における校内研究の肯定的評価回答60%以上	2	年度末の授業観察後の評価にてA評価が60%以上					
			1	学校評価における校内研究の肯定的評価回答50%未満	1	年度末の授業観察後の評価にてA評価が50%未満					
	特別支援教育を推進する。 ・特別支援委員会を中心に個々の児童に合わせた支援のための個別指導計画を作成し合理的な配慮のもと体制を整える。	・毎月1回以上の特別支援委員会開催と毎週実施の生活指導夕回を通して、全教職員への情報共有を行う。	4	学校評価における個々の児童の情報共有に係る肯定的評価回答100%	4	特別支援委員会と生活指導夕会の開催率100%					
			3	学校評価における個々の児童の情報共有に係る肯定的評価回答80%以上	3	特別支援委員会と生活指導夕会の開催率80%以上					
			2	学校評価における個々の児童の情報共有に係る肯定的評価回答60%以上	2	特別支援委員会と生活指導夕会の開催率60%以上					
			1	学校評価における個々の児童の情報共有に係る肯定的評価回答50%未満	1	特別支援委員会と生活指導夕会の開催率50%未満					
	最後までやり通すことのできる児童を育成する。 ・特別活動や学校行事等を通して最後まで取り組むことの良さを味わわせる。	・年間を通した特別活動（縦割り班活動、委員会、係活動、当番活動、登校班）や学校行事を計画的かつ効率的に実施する。	4	学校評価における特活・学校行事の実施に係る肯定的評価回答100%	4	自己肯定感(i-check)が全国平均以上の児童が100%					
			3	学校評価における特活・学校行事の実施に係る肯定的評価回答80%以上	3	自己肯定感(i-check)が全国平均以上の児童が80%以上					
			2	学校評価における特活・学校行事の実施に係る肯定的評価回答60%以上	2	自己肯定感(i-check)が全国平均以上の児童が60%以上					
			1	学校評価における特活・学校行事の実施に係る肯定的評価50%未満	1	自己肯定感(i-check)が全国平均以上の児童が50%未満					
生活指導等	いじめを許さない校風の醸成をめざす。 ・いじめ防止方針案に則り、いじめの早期発見早期解決に取り組む。	・いじめ防止対策委員会を中心に教職員全体で取り組み、情報共有のもと即時対応する。	4	定期的ないじめ防止対策委員会の開催率100%以上	4	学校生活アンケート課題解決率100%					
			3	定期的ないじめ防止対策委員会の開催率80%以上	3	学校生活アンケート課題解決率90%					
			2	定期的ないじめ防止対策委員会の開催率60%以上	2	学校生活アンケート課題解決率80%					
			1	定期的ないじめ防止対策委員会の開催率50%未満	1	学校生活アンケート課題解決率70%未満					
	自分とひとを大切にできる児童を育てる。 ・規範意識や社会性を身に付けた思いやりのある児童を育成する。	・身に付けるべき生活のルールを全職員で確認し、年間を通して段階的に指導していく。	4	学校評価における規範意識の向上に係る肯定的評価回答100%	4	規律と思いやり(i-check)が全国平均以上の児童が100%					
			3	学校評価における規範意識の向上に係る肯定的評価回答80%以上	3	規律と思いやり(i-check)が全国平均以上の児童が80%以上					
			2	学校評価における規範意識の向上に係る肯定的評価回答60%以上	2	規律と思いやり(i-check)が全国平均以上の児童が60%以上					
			1	学校評価における規範意識の向上に係る肯定的評価回答50%未満	1	規律と思いやり(i-check)が全国平均以上の児童が50%未満					
	安心・安全な教育環境のある学校づくりをめざし、自分で自分の身を守ることでできる児童を育成する。	・避難訓練やセーフティ教室、保健指導を通して、自分で自分の身を守る意識を高め、実践力を身に付けさせる。	4	学校評価における安全指導に係る肯定的評価回答100%	4	学校評価アンケートにおける学校安全に係る肯定的評価回答100%					
			3	学校評価における安全指導に係る肯定的評価回答80%以上	3	学校評価アンケートにおける学校安全に係る肯定的評価回答80%					
			2	学校評価における安全指導に係る肯定的評価回答60%以上	2	学校評価アンケートにおける学校安全に係る肯定的評価回答60%					
			1	学校評価における安全指導に係る肯定的評価回答50%未満	1	学校評価アンケートにおける学校安全に係る肯定的評価回答50%未満					

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
学校の管理運営	「チーム二寺小」として、組織的な学校運営を推進する。	・経営会議、企画会を質的に充実させ、計画的で組織的な提案を行い、実施後は即時見直しを次年度のために行う。	4	学校評価における組織的な教育活動に係る肯定的評価回答100%	4	学校評価アンケートにおける教育活動に係る肯定的評価回答100%					
			3	学校評価における組織的な教育活動に係る肯定的評価回答80%以上	3	学校評価アンケートにおける教育活動に係る肯定的評価回答80%以上					
			2	学校評価における組織的な教育活動に係る肯定的評価回答60%以上	2	学校評価アンケートにおける教育活動に係る肯定的評価回答60%以上					
			1	学校評価における組織的な教育活動に係る肯定的評価回答50%未満	1	学校評価アンケートにおける教育活動に係る肯定的評価回答50%未満					
	教員としての使命を自覚し副規程を遵守する教員の資質向上を図るとともに、教員としての使命を自覚し服務規程を遵守する。	・教職員に服務事故を起こさないために服務事故防止研修を毎月実施する。、	4	教職員ア「服務研修への取組状況」100%	4	保護者ア「学校満足度」肯定的意見90%以上					
			3	教職員ア「服務研修への取組状況」90%以上	3	保護者ア「学校満足度」肯定的意見80%以上					
			2	教職員ア「服務研修への取組状況」70%以上	2	保護者ア「学校満足度」肯定的意見60%以上					
			1	教職員ア「服務研修への取組状況」70%以上以下	1	保護者ア「学校満足度」肯定的意見60%未満					
	学校には、適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	・児童が安全で落ち着いて学校生活を過ごすことができる環境を整える。	4	教員ア「安全対策への取組」肯定的意見90%以上	4	保ア「安全対策」肯定的意見85%以上					
			3	教員ア「安全対策への取組」肯定的意見85%以上	3	保ア「安全対策」肯定的意見80%以上					
			2	教員ア「安全対策への取組」肯定的意見80%以上	2	保ア「安全対策」肯定的意見70%以上					
			1	教員ア「安全対策への取組」肯定的意見80%未満	1	保ア「安全対策」肯定的意見70%未満					
家庭・地域連携	学校の情報を積極的に発信する。	・毎月の学校便りや学年便り等での情報発信に加えて、HPを充実させる。	4	HPの更新が平均して月に3回以上	4	学校評価アンケートにおける通知や連絡に係る肯定的評価回答100%					
			3	HPの更新が平均して月に2回以上	3	学校評価アンケートにおける通知や連絡に係る肯定的評価回答80%以上					
			2	HPの更新が平均して月に2回未満	2	学校評価アンケートにおける通知や連絡に係る肯定的評価回答60%以上					
			1	HPの更新が平均して月に1回未満	1	学校評価アンケートにおける通知や連絡に係る肯定的評価回答50%未満					
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を推進する。	・地域教材や地域人材を活かした学習活動を推進する。	4	地域教材・人材を活かした学習活動の実施が学年3回以上	4	学校評価アンケートにおける地域との連携に係る肯定的評価回答100%					
			3	地域教材・人材を活かした学習活動の実施が学年2回以上	3	学校評価アンケートにおける地域との連携に係る肯定的評価回答80%以上					
			2	地域教材・人材を活かした学習活動の実施が学年2回未満	2	学校評価アンケートにおける地域との連携に係る肯定的評価回答60%以上					
			1	地域教材・人材を活かした学習活動が学年で未実施	1	学校評価アンケートにおける地域との連携に係る肯定的評価回答50%未満					

